

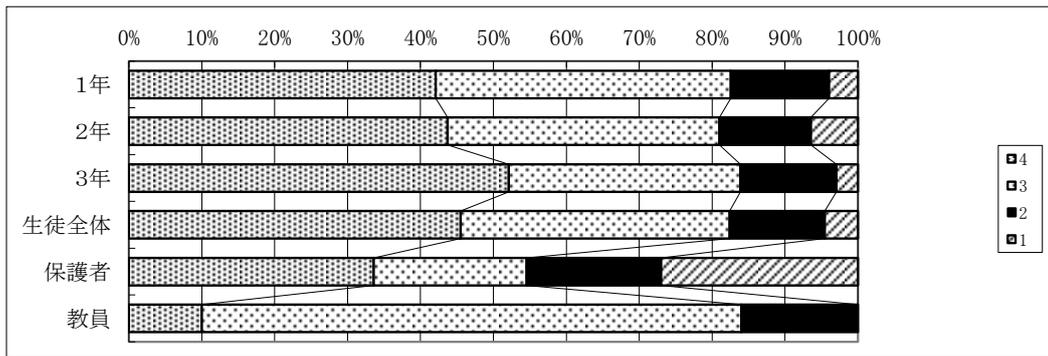
平成25年度 学校評価アンケート集計結果及び分析

都立府中東高等学校

- Q1. (生徒) 学校は楽しく充実していますか。
 (保護者) お子さんの様子や話などから、お子さんの学校生活は充実していると思いますか。
 (教員) 生徒にとって学校生活が充実していると思いますか。

		在籍数に対する人数比(%)				
		4	3	2	1	回答率
生徒	1年	41.3	39.7	13.2	3.9	98.1
	2年	42.3	36.1	12.1	6.2	96.7
	3年	48.2	29.4	12.2	2.7	92.5
生徒全体		43.7	35.4	12.5	4.4	96.0
保護者		43.9	27.3	24.1	35.3	41.1
教員		9.6	71.2	15.4	0.0	96.2

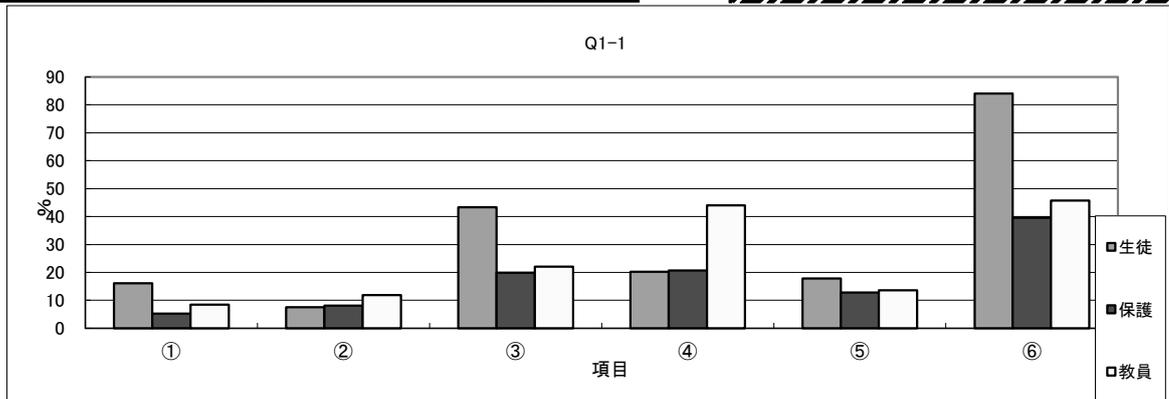
昨年度と比べ3年生の強く肯定的な回答の割合が増加した。(昨年は4-26.8%、3-55.0%)保護者は55%が肯定的な意見を寄せているが、生徒達が充実した学校生活を送っていることについては個々に課題を感じていることが垣間見られる。保護者の回収率の低下については確実な回収が出来るよう依頼を徹底することが課題である。



- Q1-1 4・3に○を付けた方に聞きます。その理由は何ですか。次の中から選んでください。(複数回答可)
 ①授業が充実している。 ②進路希望にあった教科や科目の学習ができる。 ③クラスの雰囲気が良い。
 ④部活動が充実している。 ⑤学校行事が楽しく充実している。 ⑥友人との語らい・交流が楽しい。
 ⑦その他(自由記載)

		回答数					
		①	②	③	④	⑤	⑥
生徒	1年	21	21	77	49	7	105
	2年	40	9	81	39	61	220
	3年	27	11	78	22	29	133
生徒全体		88	41	236	110	97	458
保護者		20	31	76	79	49	151
教員		5	7	13	26	8	27

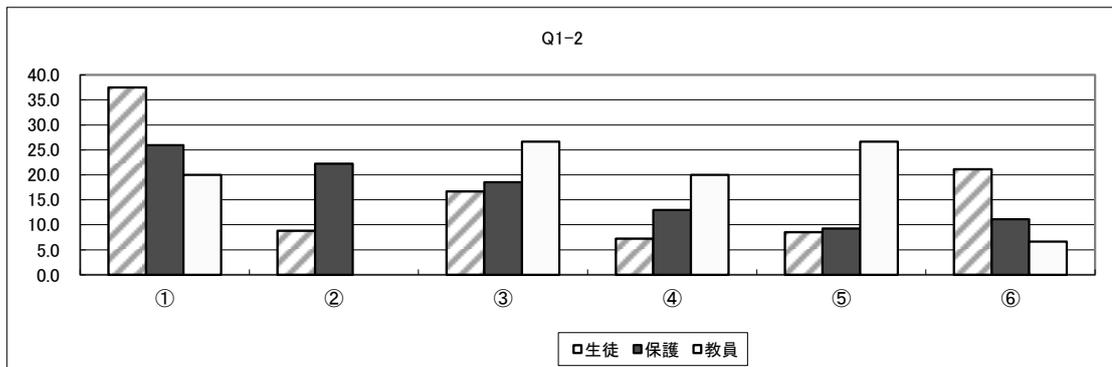
昨年度と比べ1年生の強く肯定的な回答数が増加した。(昨年は4-7人、3-0人)。①授業の充実②教科や科目の充実へ向け、学校として授業改善に取り組んできたことの表れと思われる。3年生も肯定的な回答数が増加している。教員の視点からは、受験を控えた生徒の学習意欲の増加を肌で感じており、それが結果に現れたと感じる結果である。(昨年は4-21人、3-7人)



- Q1-2 2・1に○を付けた方に聞きます。その理由は何ですか。次の中から選んでください。(複数回答可)
 ①授業がつまらない。②進路希望にあった教科や科目の学習ができていない。③クラスの雰囲気が良くない。
 ④部活動に参加していない。⑤学校行事がつまらない。⑥友人との語らい・交流があまりない。
 ⑦その他(自由記載)

		回答数					
		①	②	③	④	⑤	⑥
生徒	1年	70	14	35	21	14	56
	2年	21	2	8	1	9	9
	3年	28	12	10	1	4	2
生徒全体		119	28	53	23	27	67
保護者		14	12	10	7	5	6
教員		3	0	4	3	4	1

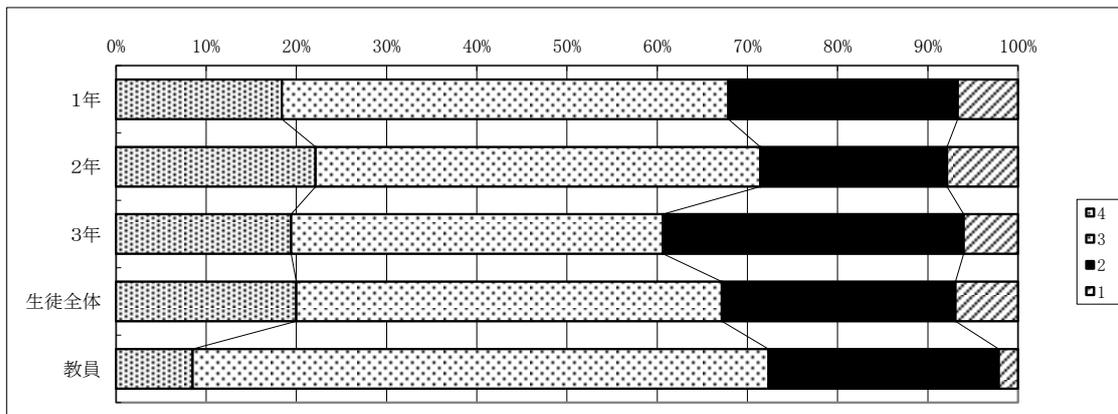
生徒全体で①が昨年度67人から今年度119人と倍増した。2・1に○をつけた生徒が一定数いるということから、授業改善が緊急の課題であることが伺える。また改善の方向性を学校全体で見つけていくことが大切である。
 また、生徒が回答した総数は165人、今年度317人で倍増しているが、アンケートを真摯に回答しようとする姿勢の高まりが伺えた。



- Q2. 生徒) 本校での生活は、自分の将来にとって有益であると思いますか。
 教員) 生徒は、学校での生活が、自分の将来にとって有益であると感じていると思いますか。

		人数比(%)					回答率
		4	3	2	1		
生徒	1年	17.7	47.7	24.5	6.5	96.5	
	2年	20.3	45.2	19.0	7.2	91.8	
	3年	16.5	34.9	28.2	5.1	84.7	
生徒全体		18.3	43.1	23.7	6.3	91.4	
教員		7.7	57.7	23.1	1.9	90.4	

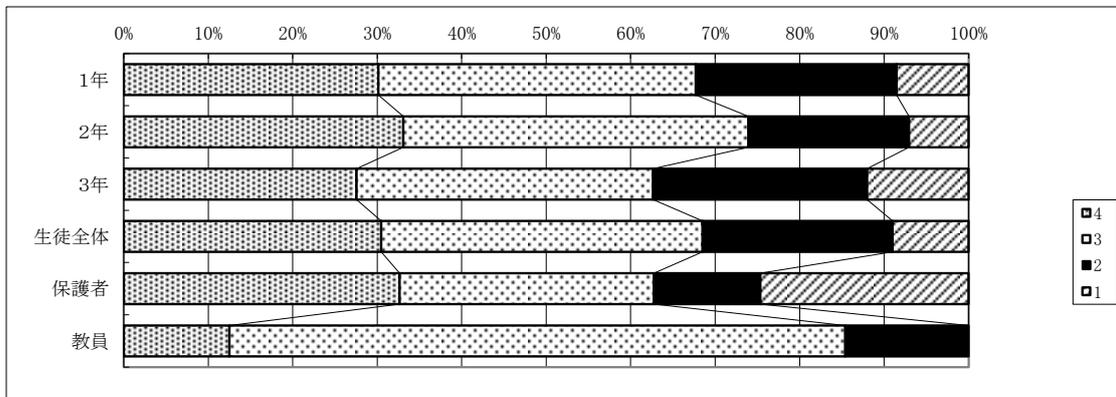
生徒全体で61.4%が有益であると思っているという結果が出ているが、教員は65.4%(昨年83%)がそのように思っている。意識が同レベルでありお互いに課題を感じていることが伺える。昨年度はこの差が20%であった。



- Q3. (生徒) あなたや保護者の方への文書・事務連絡等は適切でわかりやすいと思いますか。
 (保護者) 学校から家庭へ出す文書・事務連絡等は適切でわかりやすいと思いますか。(Q2)
 (教員) 保護者に出す文書・事務連絡等は適切でわかりやすいと思いますか。

		人数比(%)				
		4	3	2	1	回答率
生徒	1年	27.4	34.2	21.6	7.7	91.0
	2年	30.8	38.0	17.7	6.6	93.1
	3年	24.3	31.0	22.4	10.6	88.2
生徒全体		27.7	34.6	20.5	8.2	90.9
保護者		41.0	37.8	15.8	30.9	125.5
教員		11.5	67.3	13.5	0.0	92.3

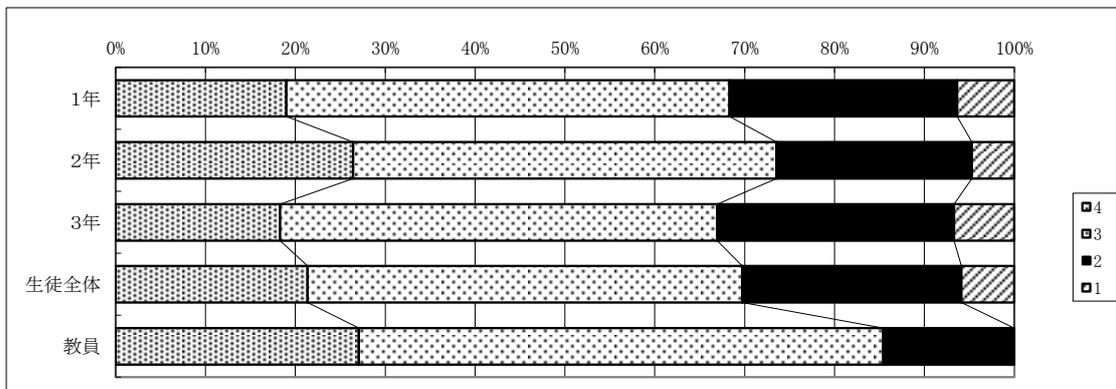
1年生の肯定的な回答が昨年度の(4-55.7%、3-20.3%)から大きく変わった。保護者の1の割合が3.6%から9.8%へ増加した。わかりやすく適切な文書・事務連絡が求められていることが伺える。



- Q4. (生徒) 学校は、あなたや保護者の方からの連絡・相談について適切に対応していると思いますか。
 (教員) 学校は、生徒や保護者の方からの連絡・相談について適切に対応していると思いますか。

		人数比(%)				
		4	3	2	1	回答率
生徒	1年	18.4	47.7	24.5	6.1	96.8
	2年	23.9	42.6	19.7	4.3	90.5
	3年	16.1	42.7	23.1	5.9	87.8
生徒全体		19.7	44.5	22.4	5.4	92.0
教員		25.0	53.8	13.5	0.0	92.3

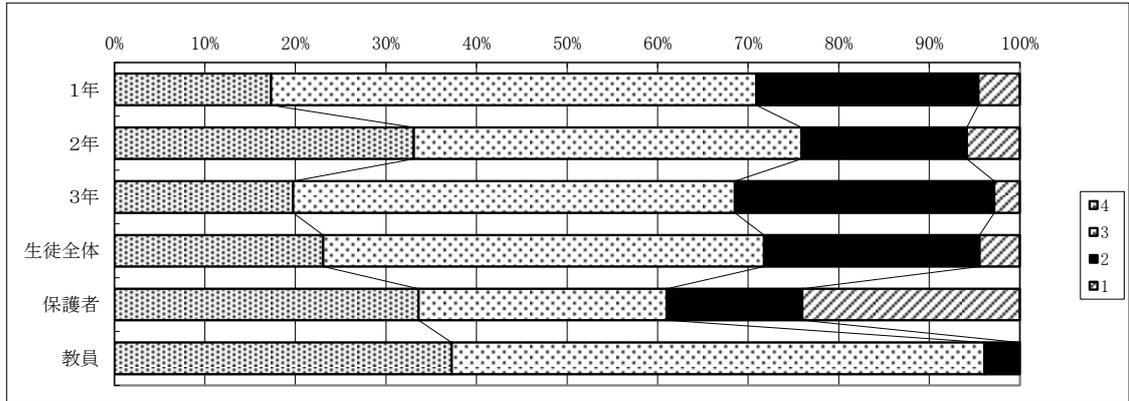
回答に昨年度と大きな変化はない。昨年度の生徒は1年4-30.3% 2年4-12.6%、で1年は肯定的な割合が減少、2年は倍増した。学校側の一層のきめ細かい対応が求められる。分析は、学年の担任団と協力し、しっかりと行う必要がある。



- Q5. 生徒) 先生は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。
 保護者) 先生は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。(Q3)
 教員) あなたは、わかりやすい授業に努めていると思いますか。

		人数比(%)					
		4	3	2	1	回答率	
生徒	1年	17.1	52.9	24.2	4.5	98.7	
	2年	27.9	36.1	15.4	4.9	84.3	
	3年	19.2	47.5	27.8	2.7	97.3	
生徒全体		21.5	45.4	22.2	4.1	93.2	
保護者		42.8	34.9	19.1	30.6	127.3	
教員		36.5	57.7	3.8	0.0	98.1	

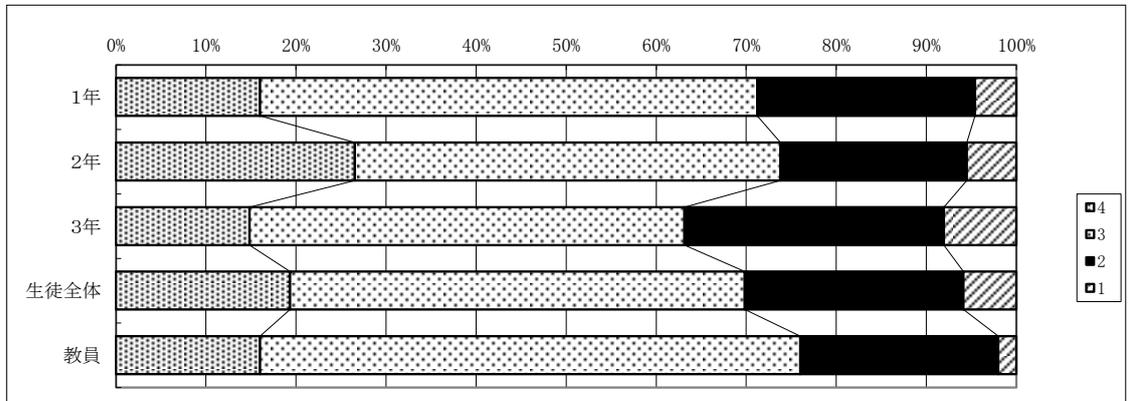
昨年度と比較して、肯定的な意見は1年生が5%増加3年生が5%減少である。今年度の保護者の肯定的な意見は回答数の61%で昨年の68%から減少している。その結果教員の回答とは35%の開きが出ている。教員との数値的な格差が開いているが、教員の自己満足に終わっていないか、その理由をもう一度検証する必要がある。



- Q6. 生徒) 学習内容(教科・科目・選択制等)は、あなたの進路希望に応えるものになっていると思いますか。
 教員) 学習指導計画(時間割や選択制等)は、生徒の進路希望に応えるものになっていると思いますか。

		人数比(%)					
		4	3	2	1	回答率	
生徒	1年	15.8	54.5	23.9	4.5	98.7	
	2年	25.2	44.9	19.7	5.2	95.1	
	3年	13.7	44.7	26.7	7.5	92.5	
生徒全体		18.5	48.3	23.2	5.6	95.6	
教員		15.4	57.7	21.2	1.9	96.2	

全体的には昨年度の結果と大きな差はない。しかし、2年生の肯定的な意見が12%程増えており、その原因を考えなければならぬ。また、教員と生徒との意識には大きな差が見られる。この溝を埋めるための努力が必要である。選択科目の見直しや少人数クラスの導入等、対応できる方策があると思われる。



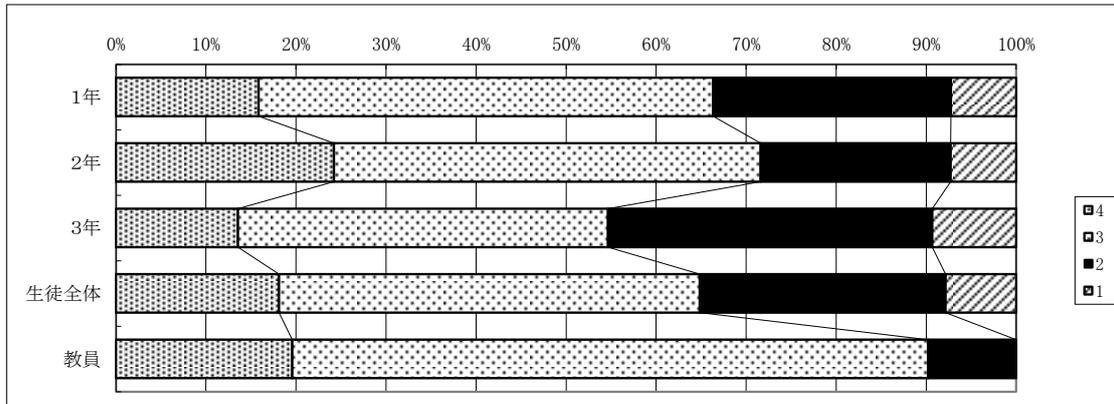
Q7.

生徒) 先生は、授業アンケートなどを通して、授業の工夫や改善に努めていると思いますか。

教員) 授業アンケートなどを通して、授業の工夫や改善に努めていると思いますか。

		人数比(%)				
		4	3	2	1	回答率
生徒	1年	15.5	49.4	25.8	7.1	97.7
	2年	23.0	44.9	20.0	6.9	94.8
	3年	12.5	38.0	33.3	8.6	92.5
	生徒全体	17.2	44.5	26.0	7.5	95.2
教員		19.2	69.2	9.6	0.0	98.1

昨年度に対し、肯定的な回答が1・2年生で11%増、3年生で12%減である。一方で教員は90%が肯定的な意見を寄せている。この25%の差をどのようにして埋めていくかが課題である。



Q8.

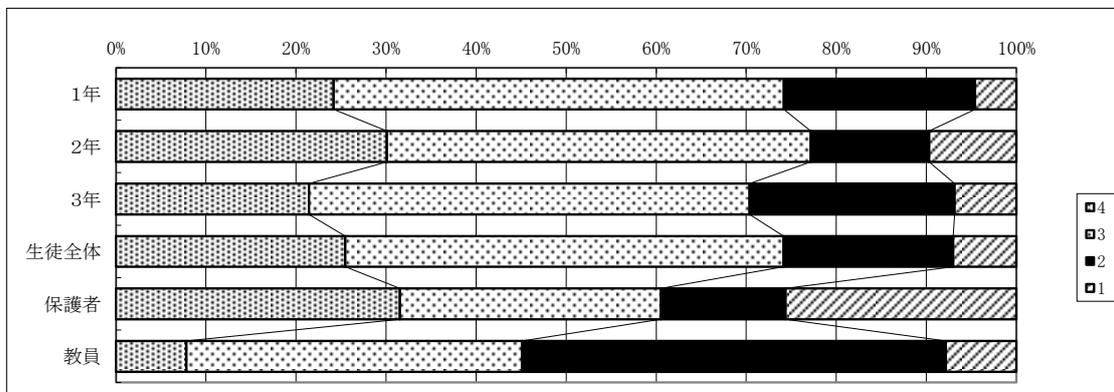
生徒) あなたは、授業に積極的に取り組んでいると思いますか。

保護者) お子さんとの会話から、お子さんは授業に積極的に取り組んでいると思いますか。(Q4)

教員) 生徒は、授業に積極的に取り組んでいると思いますか。

		人数比(%)				
		4	3	2	1	回答率
生徒	1年	23.9	49.4	21.0	4.5	98.7
	2年	28.5	44.6	12.5	9.2	94.8
	3年	19.6	44.7	20.8	6.3	91.4
	生徒全体	24.3	46.3	17.9	6.7	95.2
保護者		44.2	40.6	19.4	36.0	140.3
教員		7.7	36.5	46.2	7.7	98.1

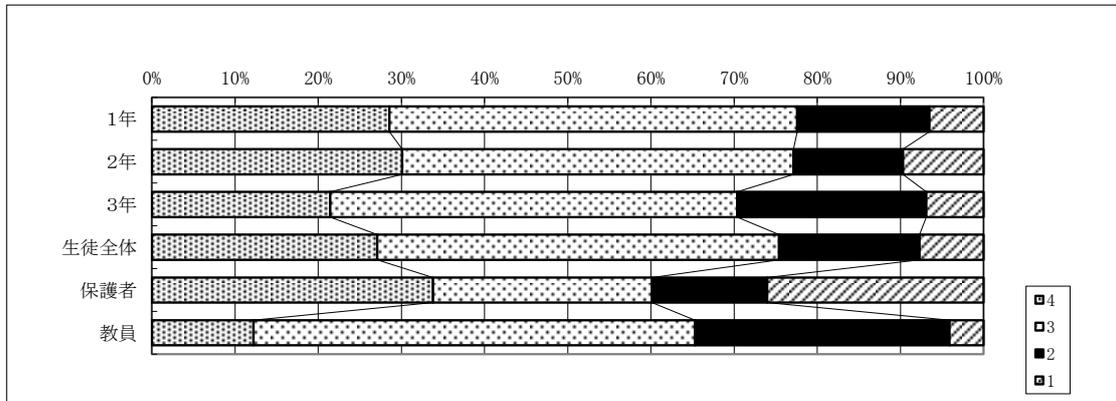
昨年度に比べ肯定的な回答が3年生で11%減少、保護者では12%増加した。また、2年生の回答4の割合が12%増加している。昨年度より明らかに授業への取り組みが積極的になっていることが伺える。結果をQ7と関連させて分析し、一定の手当をして行かないといけない。



- Q9. (生徒) あなたは、遅刻指導や特別指導などの学校が行っている生活指導は適切だと思いますか。
 (保護者) 遅刻指導や特別指導などの学校が行っている生活指導は適切だと思いますか。(Q6)
 (教員) 遅刻指導や特別指導などの学校が行っている生活指導は適切だと思いますか。

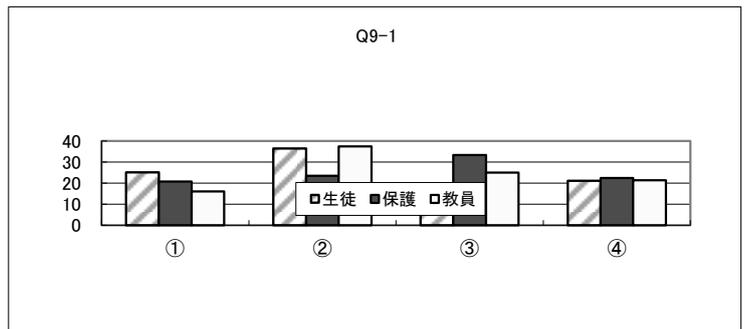
		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	28.4	48.7	15.8	6.5	99.4
	2年	28.5	44.6	12.5	9.2	94.8
	3年	19.6	44.7	20.8	6.3	91.4
	生徒全体	25.9	46.1	16.1	7.4	95.4
保護者		42.1	32.7	17.3	32.4	124.5
教員		11.5	50.0	28.8	3.8	94.2

昨年度に比べ、保護者の肯定的な回答が16%減少した。評価の難しいところだが、生徒の指導に対する意識は年々肯定的なものが増えていると考えれば今の指導法を継続して行っていくことが望ましいと思われる。



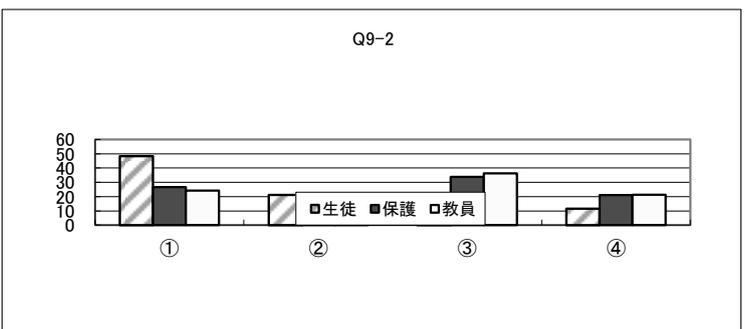
- Q9-1 4・3に○を付けた方に聞きます。その理由は何ですか。次の中から選んでください。(複数回答可)
 ①生活指導の方針が明確に示されている。②基本的な生活習慣が身に付くように指導してくれる。
 ③頭髪や服装指導をきちんと指導してくれる。④遅刻指導などきちんとしてくれている。
 ⑦その他(自由記載)

		回答数			
		①	②	③	④
生徒	1年	29	65	28	65
	2年	33	27	32	32
	3年	33	42	30	19
	生徒全体	95	134	90	116
保護者		51	57	82	61
教員		4	11	8	6



- Q9-2 2・1に○を付けた方に聞きます。その理由は何ですか。次の中から選んでください。(複数回答可)
 ①生活指導の方針が明確に示されていない。②基本的な生活習慣が身に付くように指導してくれない。
 ③頭髪や服装指導をきちんと行われていない。④遅刻指導などきちんと行われていない。
 ⑦その他(自由記載)

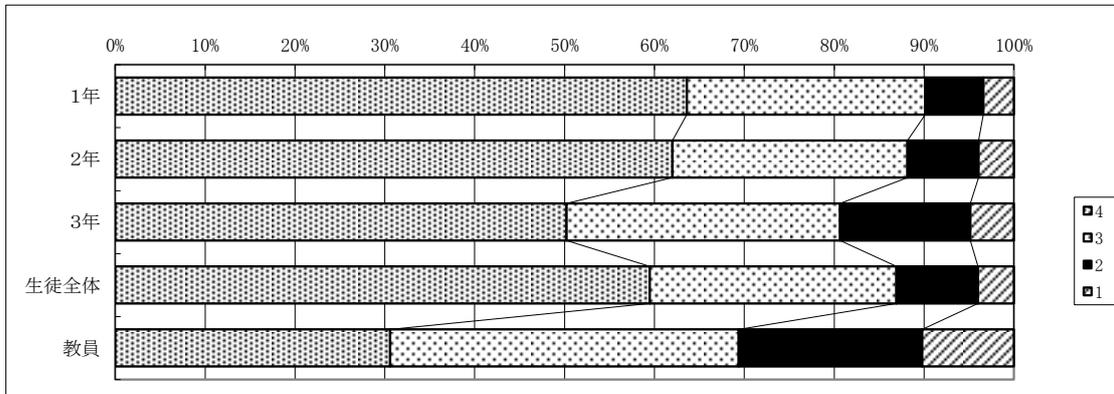
		回答数			
		①	②	③	④
生徒	1年	21	39	19	19
	2年	26	11	17	3
	3年	25	18	22	15
	生徒全体	72	68	58	37
保護者		18	14	24	18
教員		6	1	7	1



Q10. 生徒) あなたは遅刻しないように注意をしていますか。
 教員) 遅刻指導をもっと徹底してやるべきだと思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	60.3	25.2	6.1	3.2	94.8
	2年	56.7	23.9	7.2	3.6	91.5
	3年	40.8	24.7	11.8	3.9	81.2
	生徒全体	53.3	24.6	8.2	3.6	89.7
教員		28.8	36.5	19.2	9.6	94.2

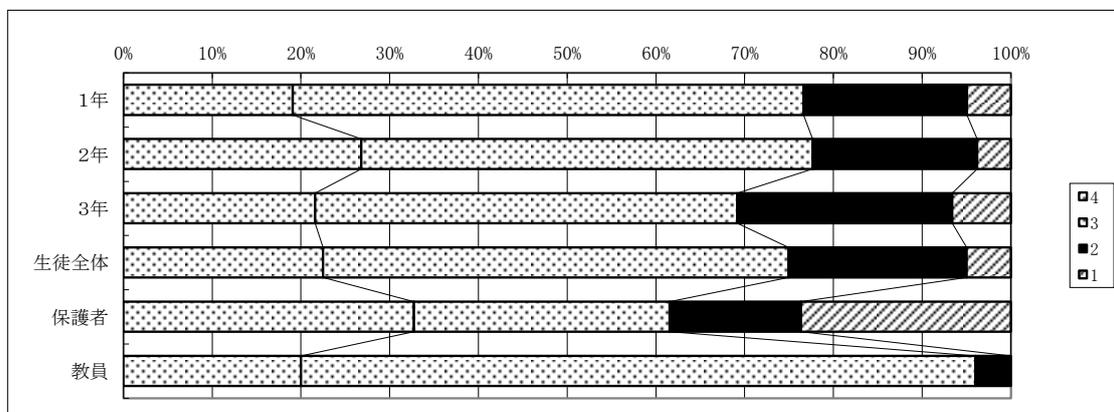
遅刻をしないようにするという意識については生徒の回答が昨年度より10%向上した。教員の厳しくすべきだという意識は昨年度と同等で学校全体で遅刻を無くしていこうという意識が継続している。家庭との協力をさらにしていき、限りなく遅刻を無くしていけたらと思う。



Q11. 生徒) 学校では、あなたの適性や希望などを生かした適切な進路指導が行われていると思いますか。
 保護者) 学校は、お子さんの適性や希望などを生かした適切な進路指導を行っていると思いますか。(Q7)
 教員) 学校は、生徒の適性や希望などを生かした適切な進路指導を行っていると思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	18.7	56.5	18.1	4.8	98.1
	2年	25.6	48.5	17.7	3.6	95.4
	3年	19.2	42.4	21.6	5.9	89.0
	生徒全体	21.3	49.5	19.0	4.7	94.5
保護者		45.3	39.9	20.5	32.7	138.5
教員		19.2	73.1	3.8	0.0	96.2

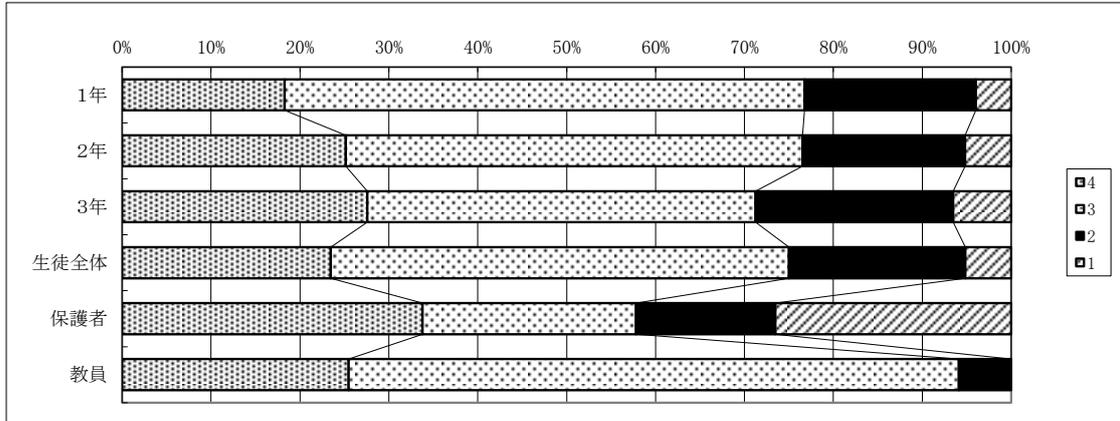
昨年度に比べ、生徒は肯定的な意見が1・2年で増加、保護者では肯定的な意見が10%減っている。全体の方針についてあるいは個別対応についてなのか、原因の解明が急務である。



- Q12. 生徒) 学校から、あなたや保護者の方へ、進路指導に関する連絡や情報提供は充分に行われていると思いますか。
 保護者) 学校は、あなたやお子さんへ、進路指導に関する連絡や情報提供は充分に行われていると思いますか。(Q8)
 教員) 学校は、生徒や保護者の方へ、進路指導に関する連絡や情報提供は充分に行っていると思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	17.7	56.8	18.7	3.9	97.1
	2年	23.9	48.9	17.4	4.9	95.1
	3年	28.2	44.7	22.7	6.7	102.4
	生徒全体	23.0	50.5	19.4	5.1	97.9
保護者		43.5	30.9	20.1	34.2	128.8
教員		25.0	67.3	5.8	0.0	98.1

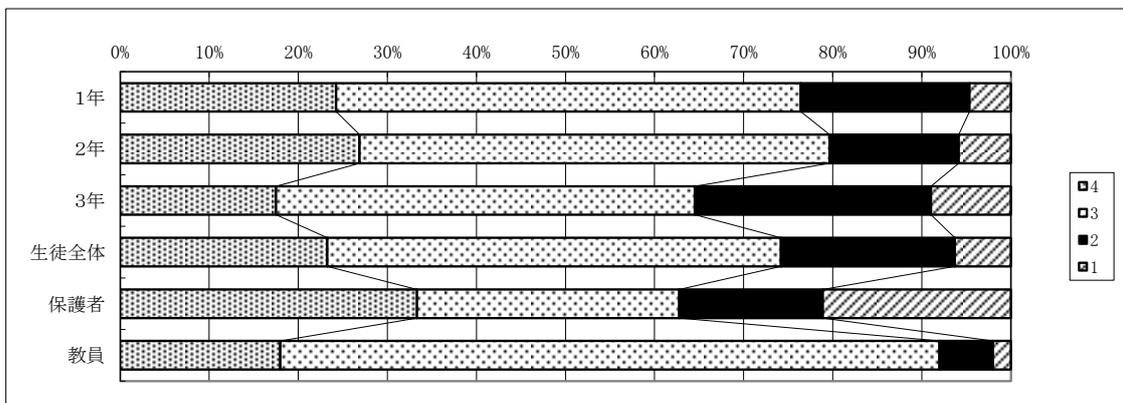
昨年度に比べ生徒の肯定的な回答の割合が5%増えている。2年生の増加が15%と著しい。保護者・教員の傾向はあまり変わらない。一方で肯定的な意見が大部分をしめる教員と、生徒・保護者の溝をいかに埋めるかが問われている。



- Q13. 生徒) 学校は、あなたが社会人として生きていくための教育をしていると思いますか。
 保護者) 学校は、生命の重さや人と人との関わりの大切さについて適切に指導していると思いますか。(Q5)
 教員) 学校は、生徒が社会人として生きていくための教育をしていると思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	23.5	50.6	18.4	4.5	97.1
	2年	25.6	50.2	13.8	5.6	95.1
	3年	16.1	43.1	24.3	8.2	91.8
	生徒全体	22.1	48.3	18.5	6.0	94.8
保護者		43.2	38.1	20.9	27.3	129.5
教員		17.3	71.2	5.8	1.9	96.2

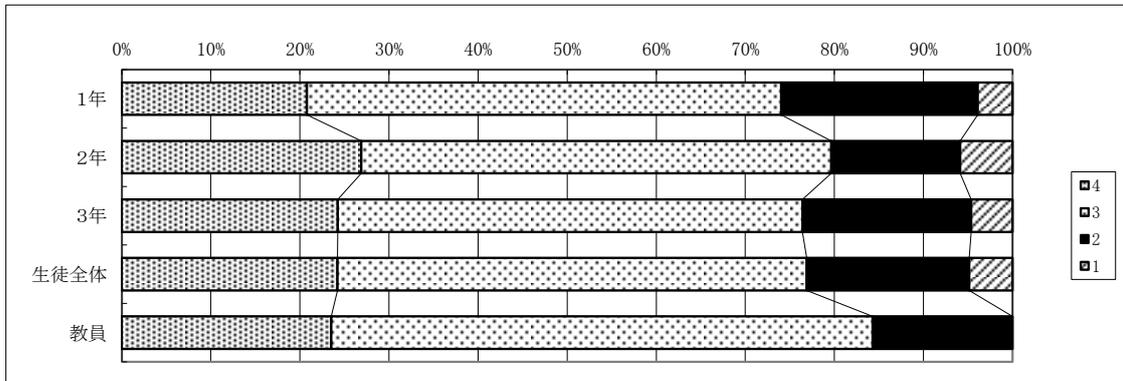
生徒と教員の肯定的な回答は昨年度とさほど変わらない。しかし、保護者では肯定的な意見が6%減少している。この原因を探らなければならない。積極的なPRやその仕方など、工夫していく必要がある。



- Q14. 生徒) 授業や土曜・夏季講習等を通して、進学指導の充実に努めていると思いますか。
 教員) 進路指導について、進路指導部と学年が連携し、組織的に対応していると思いますか。

		人数比(%)				
		4	3	2	1	回答率
生徒	1年	15.5	39.7	16.5	2.9	74.5
	2年	25.6	50.2	13.8	5.6	95.1
	3年	28.6	61.6	22.4	5.5	118.0
	生徒全体	22.9	49.8	17.2	4.6	94.5
教員		23.1	59.6	15.4	0.0	98.1

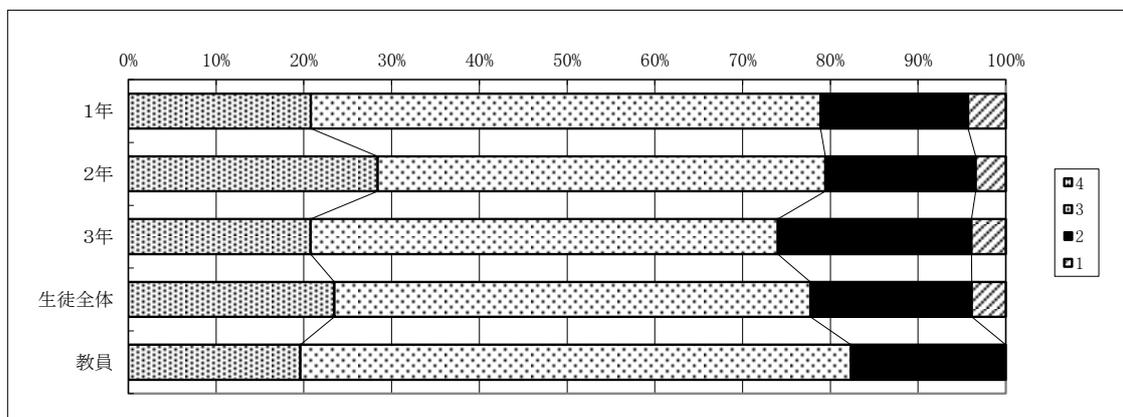
昨年度と比べ肯定的な回答の割合に大差はない。今のシステムを踏襲しながらも、さらに創意工夫を加え、いっそうの高率を引き出せるように、組織的に対応していく必要があると思われる。



- Q15. 生徒) 進路指導は1年次から計画的に行われていると思いますか。
 教員) 進路指導は1年次から計画的に行われていると思いますか。

		人数比(%)				
		4	3	2	1	回答率
生徒	1年	20.3	56.8	16.5	4.2	97.7
	2年	27.2	48.9	16.4	3.3	95.7
	3年	18.8	48.2	20.0	3.5	90.6
	生徒全体	22.3	51.5	17.5	3.7	94.9
教員		19.2	61.5	17.3	0.0	98.1

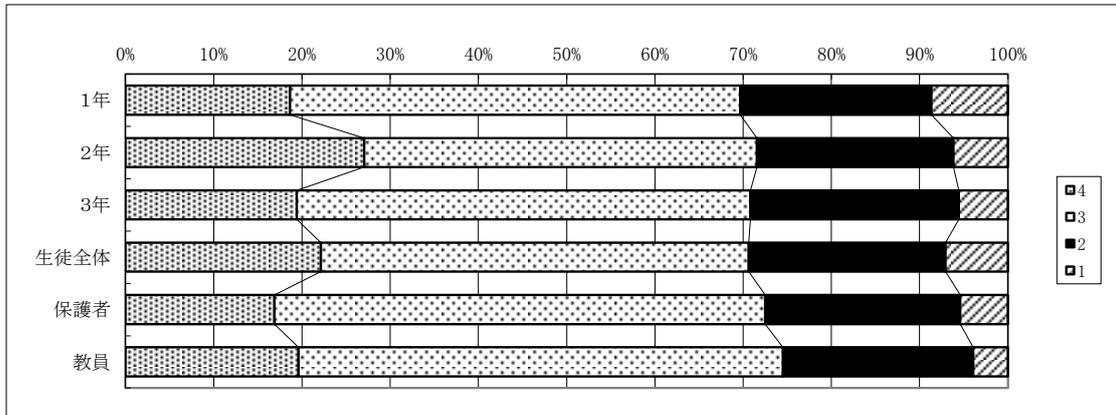
昨年度とほぼ同じ結果であった。しかし、2年生で否定的な意見がかなり減少した。進路指導部と学年とのいっそうの連携が望まれる。



- Q16. 生徒) 学校での校内の環境美化の取組は効果がでていると思いますか。
 保護者) 花いっぱい運動など校内の環境美化の取り組み効果がでていると思いますか。(Q9)
 教員) 校内の環境美化の取組は効果がでていると思いますか。

		人数比(%)				
		4	3	2	1	回答率
生徒	1年	18.1	49.4	21.0	8.4	96.8
	2年	25.9	42.6	21.3	5.9	95.7
	3年	11.0	29.0	13.3	3.1	56.5
生徒全体		18.7	41.0	18.9	6.0	84.6
保護者		16.9	55.6	22.1	5.4	100.0
教員		19.2	53.8	21.2	3.8	98.1

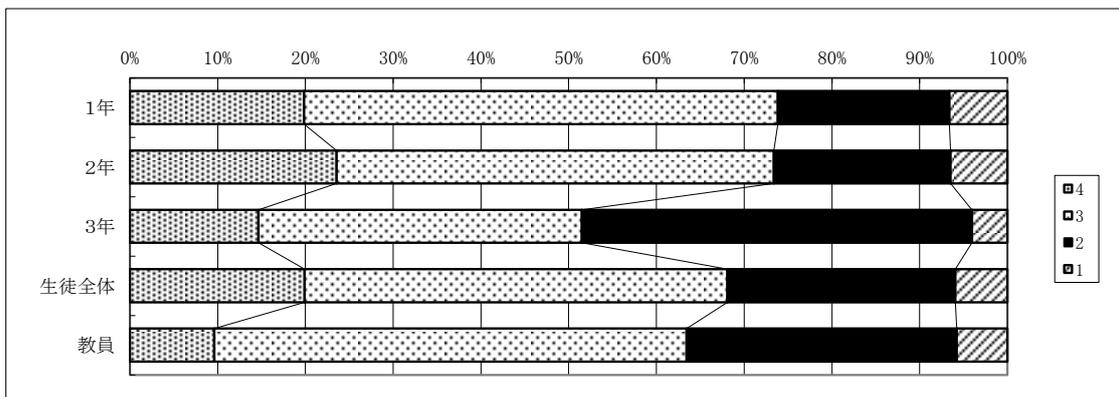
昨年度に比べ回答の割合に大差は無い。全体的には美化に関する意識は高まっていると思われる。しかし、廊下や階段、教室の汚れやトイレ壁面の錆びが目につくことも多く、学校としてさらに真剣に校内美化に向けて取り組んでいく必要があると思われる。



- Q17. 生徒) 教室・特別教室・体育施設等は学習や生活がしやすいようによく整備されていると思いますか。
 教員) 教室・特別教室・体育施設等は学習や生活がしやすいようによく整備されていると思いますか。

		人数比(%)				
		4	3	2	1	回答率
生徒	1年	19.4	52.6	19.0	6.5	97.4
	2年	22.6	47.9	19.3	6.2	96.1
	3年	11.4	28.6	34.5	3.1	77.6
生徒全体		18.2	43.9	23.7	5.4	91.1
教員		9.6	53.8	30.8	5.8	100.0

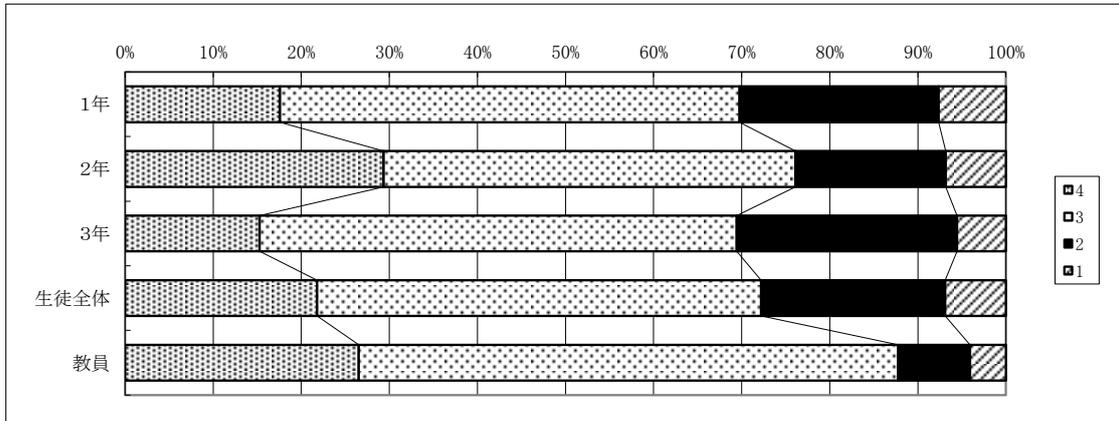
他学年に比べ3年生で肯定的な意見が20%少ない。1・2年生は10%増加したため生徒全体では昨年度と肯定的な意見の割合が10%増加したが、3年生が何を感じているのかが問題である。教員の肯定的な意見は昨年度に比べ15%上昇した。清掃等に関する意識の高まりであると見て取れる。



- Q18. 生徒) 学校は、府中けやきの森学園との交流活動やボランティア活動など活発に行っていると思いますか。
 教員) 学校は、府中けやきの森学園との交流活動やボランティア活動など活発に行っていると思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	17.1	50.6	21.9	7.4	97.1
	2年	28.2	44.9	16.4	6.6	96.1
	3年	8.6	30.6	14.1	3.1	56.5
	生徒全体	18.5	42.8	17.7	5.9	84.8
教員		25.0	57.7	7.7	3.8	94.2

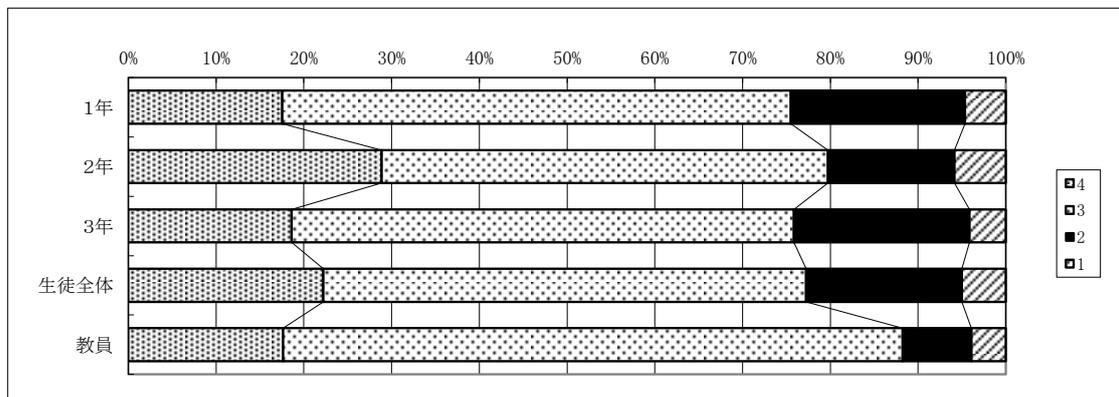
昨年度と比べ肯定的な意見の割合は大差ない。生徒会を中心とする交流事業は今年度も定期的に行われているのだから、教員への浸透がなされていないということが考えられる。生徒の肯定的な意見の数を上げるには、この活動に関するPRをもっと積極的に行い、一般の生徒の参加を呼びかけるなどの工夫が必要かと思われる。



- Q19. 生徒) 学校は、セーフティー教室などを通して、あなたの健康や安全に関わる指導を適切に行っていると思いますか。
 教員) 学校は、セーフティー教室などを通して、生徒の健康や安全に関わる指導を適切に行っていると思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	17.1	56.5	19.4	4.5	97.4
	2年	27.5	48.5	13.8	5.6	95.4
	3年	10.6	32.5	11.4	2.4	56.9
	生徒全体	18.9	46.7	15.1	4.3	84.8
教員		17.3	69.2	7.7	3.8	98.1

生徒・教員共に昨年度と比べ肯定的な意見の割合が5%程増加した。さらにこの割合を上げていくために、学校として新たな方策を考えていく必要がある。今年度、「自転車の乗り方」に関する講話を行った。これを、今後も続けていくことが望ましい。



Q20.

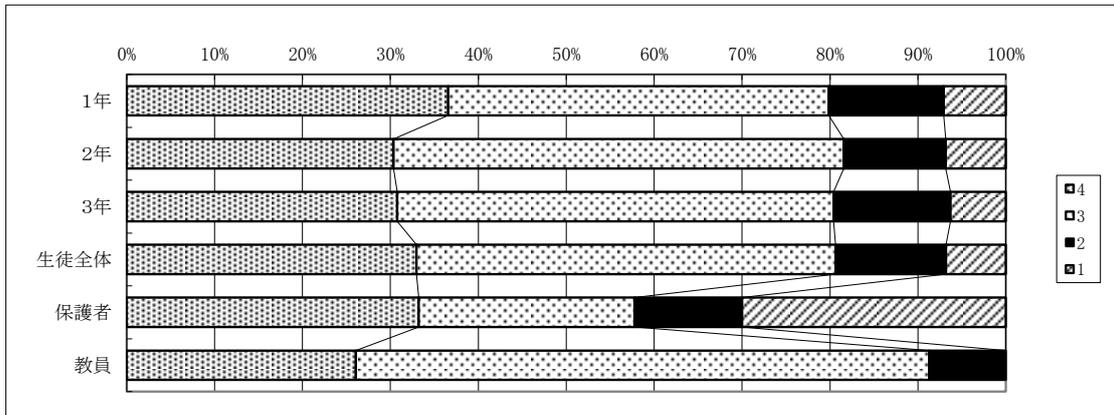
生徒) あなたは、学校行事は楽しく充実していると思いますか。

保護者) 体育祭や文化祭などの学校行事は充実していると思いますか。(Q10)

教員) 学校行事は楽しく充実していると思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	35.2	41.6	12.6	6.8	96.1
	2年	29.2	49.2	11.1	6.6	96.1
	3年	17.3	27.8	7.5	3.5	56.1
	生徒全体	27.8	40.2	10.6	5.7	84.4
保護者		43.9	32.4	16.2	39.6	132.0
教員		23.1	57.7	7.7	0.0	88.5

昨年度と比べ肯定的な意見の割合が保護者で22%減少した。学校行事における取り組みをととも周知の方法を改善することが必要である。教員ではほぼ全員が肯定的に捉えており、学校行事が望ましいものとして定着してきていると思われる。この状態を続けていく努力が必要であり、大切である。



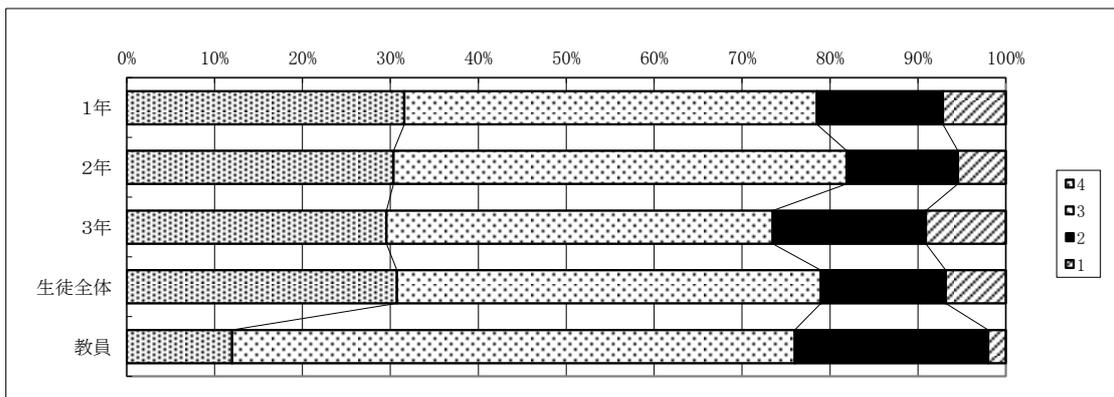
Q21.

生徒) 学校は、あなたが学校行事に積極的に参加し、集団の一員としての自覚を育てていると思いますか。

教員) 学校は、生徒が学校行事に積極的に参加し、集団の一員としての自覚を育てていると思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	31.3	46.5	14.2	7.1	99.0
	2年	29.2	49.5	12.1	5.2	96.1
	3年	15.3	22.7	9.0	4.7	51.8
	生徒全体	25.9	40.6	12.0	5.7	84.1
教員		11.5	61.5	21.2	1.9	96.2

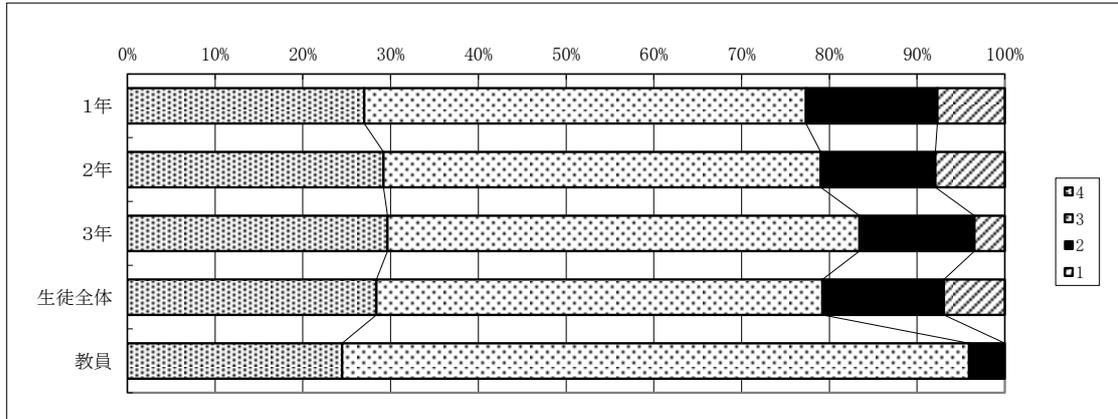
昨年度と比べ、2年生の肯定的な意見が12%増え、全体的にみて8割が肯定的な意見になった。これはとても良い傾向であり、今後、学校行事をさらに充実したものにしていければと思う。学校経営の柱の一つとして学校行事をいっそう機能させていきたい。



- Q22. 生徒) 学校は、外部指導員や専門的指導者を招き、部活指導の充実に努めていると思いますか。
 教員) 外部指導員や専門的指導者を招き、部活指導の充実に努めていると思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	26.1	48.7	14.5	7.4	96.8
	2年	27.9	47.5	12.5	7.5	95.4
	3年	16.9	30.6	7.5	2.0	56.9
	生徒全体	24.0	43.0	11.7	5.9	84.6
教員		23.1	67.3	3.8	0.0	94.2

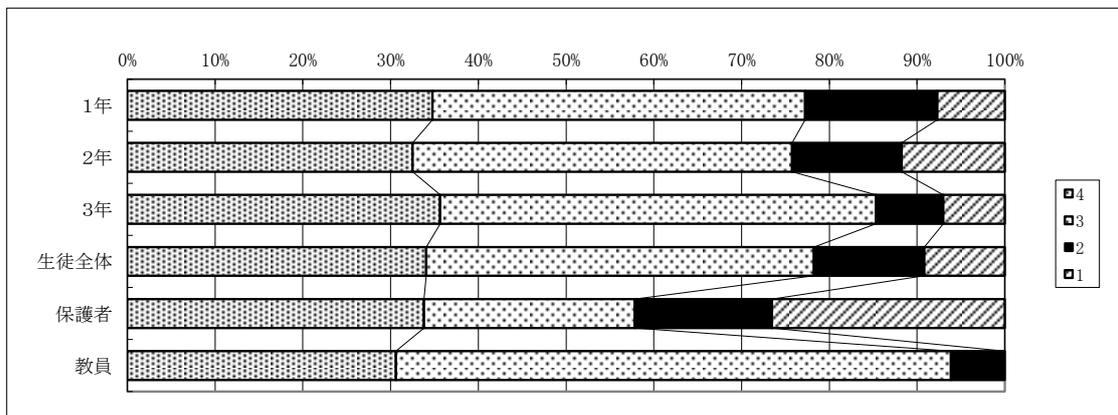
生徒の肯定的な意見の割合が昨年度に比べ3%増えている。少しずつではあるが、外部指導員の充実が部活動に反映されてきていると考えられる。教員では昨年度と比べ回答に大差は無いが、肯定的な意見を9割以上にするためには、PRの充実等工夫が要ると思われる。



- Q23. 生徒) 学校は、部活動を通して、あなたの個性を伸ばし学校生活を豊かにしていると思いますか。
 保護者) 学校は、部活動を通して、生徒一人一人の学校生活を豊かにしていると思いますか。(Q11)
 教員) 学校は、部活動を通して、生徒の個性を伸ばし学校生活を豊かにしていると思いますか。

		人数比(%)				回答率
		4	3	2	1	
生徒	1年	33.5	41.0	14.5	7.4	96.5
	2年	30.8	41.0	11.8	11.1	94.8
	3年	20.0	27.8	4.3	3.9	56.1
	生徒全体	28.6	37.1	10.6	7.7	84.0
保護者		43.5	30.9	20.1	34.2	128.8
教員		28.8	59.6	5.8	0.0	94.2

昨年度と比べ保護者では肯定的な意見が12%減少した。部活動の充実は本校として最も望むことの一つであるが、望ましい結果であると考えられる。さらに生徒の満足度を上げるために生活指導部を中心に創意工夫をしていければと思う。



1 方法

本年度で第13回となる学校評価アンケートを、平成25年12月に実施。
調査対象は在校生全員、在校生の保護者および全教員で昨年同様に実施した。

1-1 回答方法

以下の4つの選択肢から一つを回答することを原則とした。学校運営および生活指導についての関連各2問は、選択肢を6つおよび4つとして、複数回答できるようにした。

昨年同様、学校運営および生活指導の関連各2問と欄外に自由記述欄を設けた。

4	そう思う	3	ややそう思う	2	あまりそう思わない	1	そう思わない
---	------	---	--------	---	-----------	---	--------

1-2 分析方法

昨年同様、「4」および「3」の回答を肯定的評価、「2」および「1」を否定的評価とした。

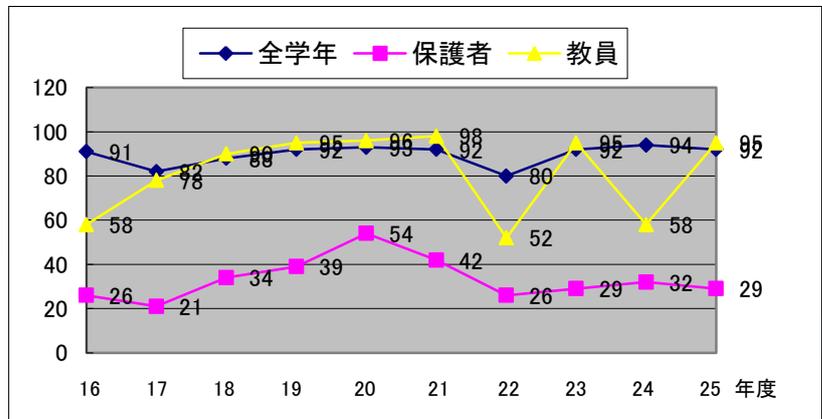
2 結果

2-1 回答率

①生徒・保護者ともに回答率は昨年度より下降している。

②保護者では18年度から上昇していたが、20年度をピークに減少している。今年度は昨年度より微増はした。

対象	回答数	回答率(%)
1学年	259	96.6
2学年	293	93.3
3学年	255	85.0
生徒全体	807	91.5
保護者	256	29.0
教員	52	94.5



※回答総数 1115
(61.3%、昨年比8.5%増)

考察

昨年度と比較して、生徒・保護者ともに回収率が下降している。何のために学校評価を実施するのか、学校評価の趣旨や目的の周知を図る必要がある。

生徒に対してHRなどを有効活用して、その趣旨を理解させ、的確に指導したしなければならない。次年度もさらに、その指導を徹底させる必要がある。一方、保護者の回収率は、29%なので、その対策が今後の大きな課題といえる。学校評価は、近い将来の学校運営を考えていく上で重要な指標となるので、その対応策を早急に考える必要がある。また教員は、その職責から考えても自身の実践を振り返ることにもなる重要な機会なので、100%の回収を達成している。

2-2 25年度重点指導の結果

25年度重点指導

社会人基礎力を涵養する。そのため、特に次の事項に取り組む。

1. 頭髪や服装など、身だしなみについての指導を徹底する。
2. 遅刻や欠席を無くし、規律ある学校生活を送る指導を徹底する。
3. 携帯電話の使用についての指導を徹底する。

①Q, 9において、生徒の60%は肯定的に捉え、昨年とほぼ同様の傾向を示している。

②Q, 9において教員及び保護者は肯定的に捉えている人が6割以上だが、昨年度より数は減少している。

- Q, 9 生徒) あなたは、遅刻指導や特別指導などの学校が行っている生活指導は適切であると思いますか。
 保護者) 遅刻指導や特別指導などの学校が行っている生活指導は適切であると思いますか。(Q6)
 教員) 遅刻指導や特別指導などの学校が行っている生活指導は適切であると思いますか。

25年度 Q, 9	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	14.6	48.3	25.5	9.0	97.4
保護者	22.7	52.0	17.6	4.7	96.9
教員	11.5	50.0	28.8	3.8	94.2

24年度 Q, 9	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	23.4	40.5	23.1	8.6	95.8
保護者	25.9	47.2	16.5	3.8	93.4
教員	10.3	55.2	31.0	3.4	100.0

考察

自由記述欄に書かれているように「1年生だけ頭髪やセーターの色指定が厳しい。」「厳しすぎる。先輩との差別」或いは、指導の仕方について「指導になるまでのボーダーラインが厳しすぎて規則を守るという気持ちも無くなっていく」などというように、指導の仕方や不平等感に対する不満が大きいことが指摘できる。昨年度も同内容の記述があり、これらの生活指導の問題に関しては、学校として指導の統一性という観点で今一度確認しておく必要であろう。また今年度問題になった盗難の件に対する記述も多かった。

保護者の自由記述欄でも、上記の生徒の意見と同様な意見「学年によって(担任によって)指導の差があり過ぎる」「生活指導、服装指導が中途半端で統一されていない」「頭髪・服装などについて、2.3年と1年の差があるので、もう少し理解できるよう指導して欲しい」など、学校の取り組み方に課題があると捉えている意見がある。このような意見も学校として受け止め、これらの声に対応していくことが全体として求められている。一方、教員の日々の実践を評価する意見も見られる。このような意見をさらに増やしていきたい。いずれにしても府中東高校が生徒及び保護者からいっそう信頼されるためには、やはり組織として生活指導他を行っていくほかに方策はない。

2-3 23年度重点目標と方策における結果

⑥生徒による学校評価アンケートの肯定的評価数値を以下のように設定する。

- ・「学校生活が充実している」80% (平成22年度 生徒80.5%、保護者89.2%)
- ・「分かりやすい授業」に80% (平成22年度 生徒64.9%、保護者64.2%)
- ・「基本的な生活習慣の確立」に70% (平成22年度 生徒64.0%、保護者73.1%)
- ・「適切な進路指導」に80% (平成22年度 生徒67.9%、保護者69.3%)
- ・「校内の環境美化」に85% (平成22年度 生徒72.2% 保護者72.5%)
- ・「学校行事への満足度」に80% (平成22年度 生徒79.0% 保護者84.4%)

- ・「学校生活が充実している」80% (平成22年度 生徒80.5%、保護者89.2%)

25年度 Q, 1	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	44.6	36.3	13.6	4.5	99.1
保護者	40.2	44.5	11.7	3.1	99.6

24年度 Q, 1	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	33.3	47.2	15.4	4.1	100.0
保護者	36.3	52.8	9.0	1.9	100.0

生徒全体	44.7	36.4	81.1 %
保護者	40.2	44.5	84.8 %

生徒全体	33.3	47.2	80.5 %
保護者	36.3	52.8	89.2 %

- ・「分かりやすい授業」に80% (平成22年度 生徒64.9%、保護者64.2%)

25年度 Q, 5	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	11.1	63.4	20.0	3.7	98.3
保護者	10.5	59.0	19.5	2.0	91.0

24年度 Q, 5	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	17.5	47.4	28.1	2.9	95.9
保護者	12.3	51.9	21.2	2.8	88.2

生徒全体	11.1	63.4	74.5 %
保護者	10.5	59.0	69.5 %

生徒全体	17.5	47.4	64.9 %
保護者	12.3	51.9	64.2 %

- ・「基本的な生活習慣の確立」に70% (平成22年度 生徒64.0%、保護者73.1%)

25年度 Q, 9	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	14.6	48.3	25.5	9.0	97.4
保護者	22.7	52.0	17.6	4.7	96.9

生徒全体	14.6	48.3	62.9 %
保護者	22.7	52.0	74.6 %

24年度 Q, 9	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	23.4	40.5	23.1	8.6	95.8
保護者	25.9	47.2	16.5	3.8	93.4

生徒全体	23.4	40.5	64.0 %
保護者	25.9	47.2	73.1 %

・「適切な進路指導」に80%（平成22年度 生徒67.9%、保護者69.3%）

25年度 Q, 11	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	12.5	61.5	18.6	5.2	97.8
保護者	14.8	56.6	21.1	3.9	96.5

生徒全体	12.5	61.5	74.0 %
保護者	14.8	56.6	71.5 %

24年度 Q, 11	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	17.9	50.1	25.0	2.3	95.2
保護者	18.4	50.9	24.5	3.3	97.2

生徒全体	17.9	50.1	67.9 %
保護者	18.4	50.9	69.3 %

・「校内の環境美化」に85%（平成22年度 生徒72.2% 保護者72.5%）

25年度 Q, 16	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	19.9	53.7	19.6	4.8	98.0
保護者	16.9	55.6	22.1	5.4	100.0

生徒全体	19.9	53.7	73.6 %
保護者	16.9	55.6	72.5 %

24年度 Q, 16	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	16.0	56.1	19.7	3.6	95.5
保護者	16.9	55.6	22.1	5.4	100.0

生徒全体	16.0	56.1	72.2 %
保護者	16.9	55.6	72.5 %

・「学校行事への満足度」に80%（平成22年度 生徒79.0% 保護者84.4%）

25年度 Q, 20	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	27.1	48.8	17.0	5.0	97.8
保護者	26.6	56.3	16.0	0.4	99.2

生徒全体	27.1	48.8	75.9 %
保護者	26.6	56.3	82.8 %

24年度 Q, 20	人数比(%)				回答率
	4	3	2	1	
生徒全体	30.7	48.3	12.7	3.8	95.5
保護者	37.3	47.2	13.2	0.5	98.1

生徒全体	30.7	48.3	79.0 %
保護者	37.3	47.2	84.4 %

考察

「学校生活が充実」の項目では、学校経営の目標値は達成した。昨年度に比較して、生徒の肯定的回答は微増し、保護者の回答は減少した。また「授業」「進路指導」に対する肯定的回答が、生徒保護者ともに増加している。これは前年度の反省をふまえた日々の実践への努力の結果であるといえよう。しかし目標とした数値には未だ達していないので、次年度以降も引き続き目標達成への継続努力が不可欠である。さらに生徒の「基本的習慣」「学校行事」での、肯定的意見率は減少してしまった。学校行事を含んだ生活指導のあり方は、課題を整理し、学校全体でその改善を図っていく必要がある。

以上のように、学校経営計画の目標値に達しているものはさらに伸ばし、そうでないものを、今後どのように目標値まで上げていくかが問われている。その際、どのように取り組んでいくか、という方策が重要になる。企画調整会議や研修会等で明確な方向性を出し、それを全体で共有していく必要がある。